

# 旧道灌山中・真土小の暫定利用終了… 創業支援・駐輪場などどうなる？

旧真土小Is値0.24  
築52年（1960年建築）



旧道灌山中Is値0.32  
築50年（1962年建築）



## 耐震度ランク

- A (Is値0.6以上)
- B (Is値0.6未満～0.39以上)
- C (Is値0.39未満～0.21以上)
- D (Is値0.21未満)
- C Dは改修、Bも補強が必要



## 再開発の種地、公園用地…何になるの？



旧真土小、旧道灌山中は、三河島駅や西日暮里駅周辺の再開発種地として活用する考えもありました。しかし校舎を解体せず時々の需要に応じて暫定利用してきました。築年数も50年を超え耐震に問題があるため取壊して更地にするようになるでしょう。旧真土小学校跡地を核とした三河島北地区再開発は、事実上頓挫した状態。旧真土小周辺は、狭隘な道路の木造密集市街地。いずれにしても住民合意による防災のまちづくりが必要なときです。



区は利用団体等との調整と今後の校舎の取扱いについて、活用を視野に入れた検討が求められます。



おなじみのスズメとツバメ



先日タクシーの職場で働く知人の方から、職場に毎年飛来して子育てをするツバメがいること、愛鳥週間（5月10日から16日）に関係してツバメの飛来が減っているというニュースもあり、話題として取り上げてはという連絡がありました。さっそく翌日早朝に職場におじゃましました。ちょうど親鳥が餌を探しに出かけていたのでしょうか、一つの巣（写真）でしかツバメを確認できませんでした。職場のコンクリート壁には毎年ツバメが飛来した日（今年3/29）が記録され



ピンぼけですがツバメの尾羽が見えます

ています。ところで愛鳥週間も終わりましたが確かにツバメもスズメも数が減っているようです。理由は、餌や巣作りの材料不足、カラスの増加、巣を作りやすい木造家屋の減少などにあるようです。いずれにしても最大の原因は、自然環境の破壊にあることは間違いありません。

横山幸次

## 旧ひろば館など廃止施設・用地は… 地域の声も聞き防災のまちづくりへの活用も

真土小学校は1988年、道灌山中学校は1998年に統廃合で廃校。阪神大震災後の公共施設耐震診断で改修が必要なCランク（左囲み）、暫定利用だとして工事はしませんでした。しかし東日本大震災や首都直下型地震発生予測・被害想定の見直しなども受け旧校舎の利用は来

現在旧道灌山中は、創業をめざす事業者に安くオフィスを提供、また校庭は三井リパーク駐車場や駐輪施設、体育館は「ころばん体操」の会場。旧真土小は、これまで障害者通所・高齢者事業などに貸出してきました。区は利用団体等との調整と今後の校舎の取扱いについて、活用を視野に入れた検討が求められます。

# 横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告  
ニュース

467

2012年5月20日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
E-mail arajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
E-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。

裏面 まちづくりを考える、区政のお知らせ…

## 定例法律相談

6月4日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

# まちづくりを 考える...

# 老朽住宅を除去した後は... 分譲住宅、コインパーキングが目立ちます



川沿いに工場跡地に  
多くのマンション

母子寮跡地の障  
害者支援施設

街なかにコイ  
ンパーキング

町屋7丁目の特養ホ  
ム建設現場

手前にも住宅が、  
狭い敷地にぎっし  
り、狭い角地にも  
目一杯の4棟が

旧ひろば館跡地  
の障害者作業所

住宅密集地につく  
られた児童遊園

木造密集地と虫  
食いのような空き  
地も...上は、閉鎖  
されたアパート

町屋ふれあい館  
と旧ひろば館...

町屋地域は、川沿いや幹線道路沿いにマンションなど耐震耐火建築物が建ち改善されています。しかしその内側は、改善が進んでいません。防災・福祉のまちづくりに向けた体制強化、住宅耐震化支援策の拡充など制度の改善が必要です。

## お知らせ...

### 危険を知らせるホイッスルを配布します

区は、小中学生・高齢者・障害者を対象にホイッスルを7万個を用意します。児童生徒には、学校を通して個別配布、私立学校の場合、教育委員会で渡すとしています。

高齢者(各町会に協力依頼・区民事務所などの窓口など)障害者(障害者施設など)で7月から配布する予定です。

地震をはじめとする災害時に自分の存在を知らせたり、血液型などの情報を入れていくことでいち早い救助が可能になります。



名前住所・緊急連絡先・血液型や常備薬、アレルギーなどの情報を書き込み、ホイッスルの中に入れます。



アルミ製長さ7,7cm直径1,1cm  
(あら坊の蓄光シール貼付)  
ストラップ: ナイロン製  
(反射材・安全装置付)

背景に「区内建坪率一律80%」の規制緩和が...  
経済効率最優先で新たな密集市街地:公園や空地は  
最近老朽建物の除却などもあつて、多くの空き地を見かけます。その後には、コインパーキングとともに狭い敷地に目一杯に建てられるハウスメーカーによる分譲住宅が目立ちます。その要因の一つに建坪率が区内全域一律80%に緩和されることがあります。区に確  
認すると23区で荒川区と墨田区だけのようです。個人の建て替えならどうなるでしょうか。あらためて住み続けることの出来る、防災も踏まえたまちづくりのあり方が問われています。

## お元気な高齢者の皆さんへ 『新おたっしランチ』

対象者 65才以上(基本チェックリストでリスクなしの方)

会場 小学校5校で実施

(第二峡田・第五峡田・尾久西・第二日暮里・第六瑞光)

募集 5月21日付区報に掲載。往復はがき(氏名住所希望学校などを記入)で申込み。

1校15名(応募が多い場合は20名まで受入る。それ以上の場合には外出する機会が少ないなど生活状況などで決定)。参加決定者には説明会を開催し、その場で(給食食材実費分一回300円で1200円)利用料を支払って手続き。

9月~12月の月一回11時~13時

【1日のプログラム】(区の保健師・地域リーダーが担当)

ころばん体操・せらばん体操 脳トレなど  
口 腔講座や栄養講座 児童との会食



2次予防の方(基本チェックリストで生活機能の低下がみられ、要支援・要介護になるおそれがあると認定された高齢者)には...

### 高齢者施設の『お元気ランチ』を

在宅高齢者支援センターなどで、週一回行っています。

チェックリストの結果が地域包括支援センターに集約されますので、地域包括支援センターの方から、参加のお声をかけています。1年間で改善が見られないようならば、さらに継続するようです。

参加費は直接、施設に食事実費分を支払います。

問い合わせは

高齢者福祉課3802-3111相談支援係 内線2679